

令和3年7月2日
航空局空港技術課

モンゴル国新ウランバートル国際空港 7月4日開港
～日本企業連合が運営する海外の空港が開港～

- 三菱商事株式会社、成田国際空港株式会社、日本空港ビルデング株式会社、株式会社 JALUX の4社（以下「日本企業連合」）が運営に参画している新ウランバートル国際空港（チンギスハーン国際空港、以下「新空港」）は、7月4日に開港。
- 日本企業連合は、今後 15年間に亘り新空港の運営を担う。

- モンゴル国の首都ウランバートル近郊に円借款で建設された新空港は、2021年7月4日に開港を迎えることとなりましたので、お知らせ致します。
- 新空港の運営については、日本企業連合が、モンゴル国営企業と共に設立した空港運営会社を通じ、モンゴル国政府との間で15年間の事業権契約を締結しております。
- 同日、空港運営会社主催の開港式典が執り行われます。
- 新空港は、日本・モンゴルの二国間協力の新たな象徴となり、モンゴルを含む地域の「空」の連結性を向上させ、観光や流通等、モンゴルの発展に寄与するものと期待しております。
- 国土交通省としましても、引き続き、日本企業連合による新空港の円滑な運営に向けて支援するとともに、航空インフラシステム海外展開の推進に取り組んで参ります。

【モンゴル国「新ウランバートル国際空港運営事業」の概要】

- (1) 事業内容：滑走路・エプロン等の土木施設の維持管理、旅客ターミナルビルの運営等
- (2) 出資比率：日本側51%、モンゴル側49%、事業期間：15年
- (3) 施設概要：
 - ・滑走路 1本 (3,600m)
 - ・旅客ターミナルビル面積 35,300 m² (旅客処理能力 年間 200万人)
 - ・2013年6月着工、2020年4月完成
 - ・設計 (株)梓設計・(株)オリエンタルコンサルタンツグローバルJV
 - ・施工 三菱商事(株)・千代田化工建設(株)JV

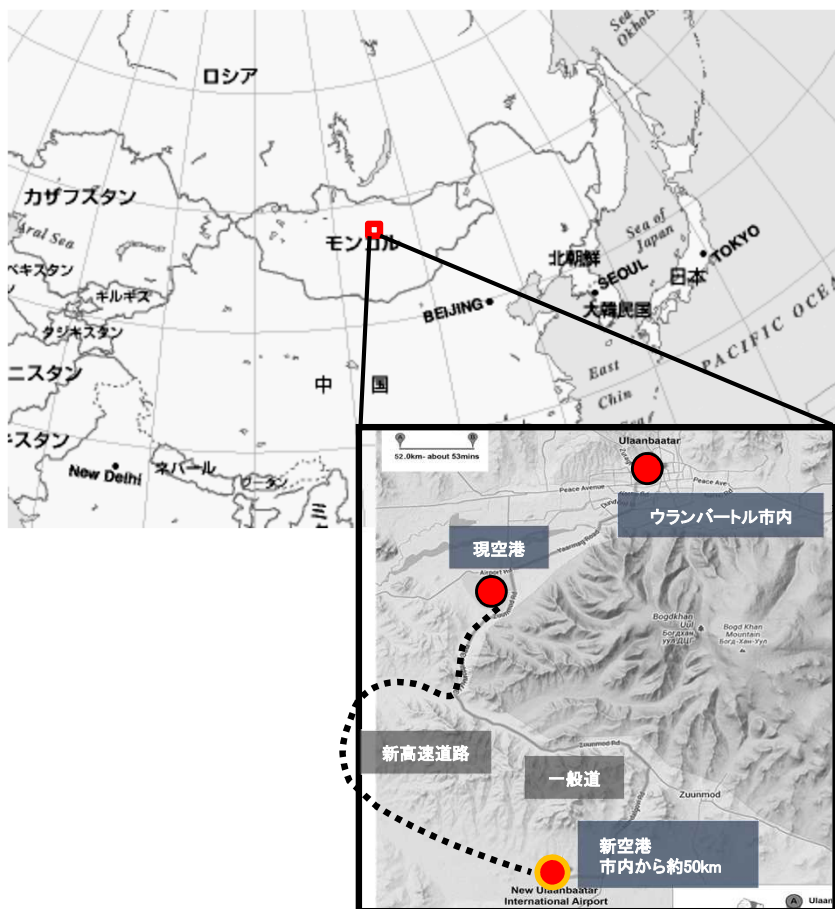
【問い合わせ先】 国土交通省 航空局 空港技術課
代表 03-5253-8111 (内線 49253、48188) 北川、瀧野
直通 03-5253-8726
FAX 03-5253-1706

モンゴル国 新ウランバートル国際空港 (7月4日開港)

概要

モンゴルの首都ウランバートルにある現空港は、南側と東側を山に囲まれた地理的制約のため離着陸が北西側のみであり、風向き等の気象条件によって就航率が低い状況となっている。そのため、地理的制約を改善し、増大する航空需要に対応するため、ウランバートル市中心部の南方約50kmの地に新たな首都空港を円借款により建設。

位置図



空港概要



- ・滑走路 1本(3,600m)
- ・旅客ターミナルビル 35,300㎡
(旅客処理能力 年間200万人)
- ・総事業費 757億円
(円借款額 657億円)
- ・2013年6月着工、2020年4月完成